

# Himawari KidsGarden



社会福祉法人ひまわり福祉  
会





遊びの中でこそ  
育つ力がある

ひまわりキッズガーデン

# ～保育士を志す皆さんへ～

「子どものため」という言葉をよく耳にするようになりました。

この「子どものため」は、様々な意図や思いがぎっしりつまっているステキな言葉ですが、昨今は、子ども自身が自由に考え、試したり失敗したりしながら、やりたいことを決め、主体的に遊ぶという本来の意図とは、少しづれてしまっているような気がしてなりません。そして、子どもが、“失敗しないように・困らないように”と、子どものやりたいことは二の次で、“これをしなさい” “～をしたほうがいい” “これがいいよ”などと、良かれと思って一方的に教えたり与えたりすることが「子どものため」と、多くの人が思い込んでいることにも疑問の念を持たざるを得ません。

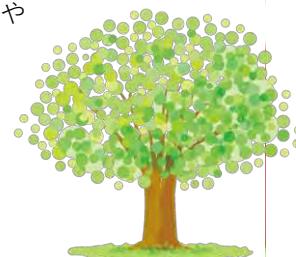
私たちひまわり福祉会保育事業部が考える「子どものため」は、“大人の良かれ”保育ではなく、子ども自身が生活体験や社会体験を通して様々な知恵や生きる力を育める『環境』を設定すること。子どもが自ら感じ、気付き、考え、時には悩んだり、迷ったり、誰かに相談したりしながら自立して生きていける力を身につけることが大切だと考えます。そしてそのためには『教え導く』のではなく、子どもたちに寄り添いながらその為の様々な環境を整え、時にそっと背中を押してあげる関わりこそが私たち大人の役割であると考えます。

私たちはいわゆる早期教育(小学校教育の先取り)には魅力を感じません。けれども、それは決して「遊び」を否定しているわけではありません。幼い頃から身に付けてほしいことはいろいろありますし、乳幼児期だから学べることもたくさんあります。

「遊び」とは、机上ですることや大人が与えるカリキュラムをこなすことだけではありません。教科書やカリキュラムがなくても、子どもは『遊び』の中で様々なことを学び、大人が教え導かなくても自ら成長する力を持っています。多くの人やモノと出会い、関わり、『夢中体験』をたくさん味わうことで好奇心や主体性が生まれ、思考力や判断力が培われ、思いやることや我慢すること、感性や想像力などが養われます。そんな生活の体験から学んだものこそがまさに「生きる力」と呼べるものなのではないでしょうか。

私たちは『早期教育』よりも『遊び』を大切にします。なぜならその中で得られる様々な体験こそがまさに「遊び」そのものであると確信するからです。遊びで培ったこれらの感覚は、大人になっても潜在的に残るもの。今すぐに学力に結び付くものではないかもしれません、身体で覚えた感覚は、後に様々な生活場面や対人関係に必ず生かされ、知的で人から愛される『人間力』へと繋がります。つい目前の結果に目を奪われがちですが、私たちは、かけがえのない豊かな経験をたくさん持っている“あとのび”する子を育てます。

さあ、あなたも私たちと一緒に、  
素晴らしい保育の道を歩んでみませんか？



あとのびする子



## ○保育理念

Child care philosophy

## ○保育方針

Child care policy

## ○保育目標

Child care target

身近な大人との愛着関係を基盤に、「受容性」から「好奇心・探求心」へ、さらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と暮らす知恵と力を身に付けます。そのために、ひまわりの保育園は、「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

## 和と輪と話を実践する子ども



Policy

# 受容性

健全な育ちは心の安定から。子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、代弁したり受け止めたりしていく中で「自己肯定感」を育てます。

# 好奇心 探求心

自信が持てた子どもは興味が外に向くようになり、自分から様々なものに関わっていくようになります。

# 主体性

経験する中で自ら考えたり試したりするようになり、発見や楽しみが増えていきます。



育ちのサイクル



# 7つの体験で育むチカラ



いろんなものが「はじめて」のこの時期。人・モノ・場所...。新鮮で貴重な出会いを大切にしていきます

出会う



色や形や大きさなどからモノや風景を認知することで豊かな情操を育てます。

見る



音色やメロディだけでなく、身近にある様々な自然の音にふれることで感性を磨きます。

聞く



柔らかさや重さ、質感など、実際にさわってみて初めて気付くことがたくさんあります。

触る



「やってみる」ことで感じたことや「やってみた」ことで得た自信が、次の想像力や意欲につながります。

体験する



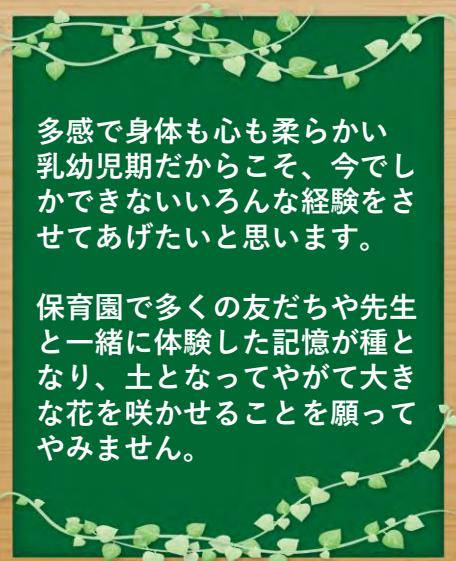
自分の思いや考えを自分の言葉で話したり、相手の話を聞こうとすることで、ふれあうことの喜びを味わいます。

語り合う



様々な人格や考えの人がいることを知り、その中で楽しく過ごすためにどうすればよいかを考えながら共感や思いやりの心を育みます。

認め合う



# 毎日食育



食がつくる  
心と身体

## 育みたい食の力

- ・おなかのすくりズムが持てる
- ・食べたいものや好きなものが増える
- ・一緒に食べたい人がいる
- ・食事づくりや準備に進んで関わる
- ・食べることを話題にする

\*企画した食育（クッキングや栽培）だけでなく、毎日の生活の中での食事や、食事までの「過程」を大切にしています。

本来「食」とは、健康を維持したり身体的な成長を促す上において最も不可欠な営みの一つであるというばかりでなく、「心の育成」の面でも、とても大きな意味を持っています。そして何より子どもたちにとって、食事は『楽しい時間』であるべきです。だからこそ「食べなければいけない」という強迫観念や義務感で行われるものであってはなりません。食材、栽培、調理、食事など、「食」というものに興味や関心を抱き、五感で味わうことで子どもたちの世界はどんどん広がっていきます。キッズガーデンのモットーは『毎日食育』。食を通して、発見・挑戦・協力・自信等、様々な力を育んでいきます。





# KidsGarden's Life

## 園児



### 運動遊び・制作活動



8:30

### 登園



10:00



### 朝の受け入れ

保護者から子どもたちの体調などを聞き、今日も楽しく過ごせるよう、笑顔で受け入れます。



### 午前活動

計画に沿って、身体を使った運動や制作活動などを子どもと楽しめます。



11:00

### 昼食



楽しい雰囲気で食事ができるよう、笑顔で声掛けをしながら食への興味を引き出します。

## 保育士

### 出勤・就業開始

身だしなみを整え、勤務開始。前日からの引き継ぎや連絡事項を確認して一日が始まります。



### 朝の受け入れ

保護者から子どもたちの体調などを聞き、今日も楽しく過ごせるよう、笑顔で受け入れます。



### 午前活動

計画に沿って、身体を使った運動や制作活動などを子どもと楽しめます。



保育士の仕事は園児との関わりだけではありません。事務系の仕事から管理・整備の業務まで、保育士に求められる仕事は幅広く多岐に渡っています。

しかし、それらは、安全で充実した保育活動を営む上ではどれも欠かせない大切な任務です。大変なこともあります、結果や成果に繋がった時には、それだけ大きな達成感ややり甲斐を感じることができます。その意味では“雑務”なんて一つもないのです。



12:15  
昼寝



安心して眠れる環境作りを心掛け、10分ごとに子どもの顔色や呼吸を観察します。その間に昼礼をします。



15:00  
おやつ

テーブルを消毒したり、子どもたちを席に着かせたりして、準備をします。食事中から片付けまで注意を払いながら保育に当たります。

15:30  
自由遊び  
順次引渡し



ゆったりとした気持ちで遊べるよう、一人ひとりと関わりながらお迎えを待ちます。お迎えにきた保護者には今日の出来事を伝えます。



16:45  
降園



事務・保育準備

日誌の記入や指導計画の立案、おたよりの作成や明日の保育準備などをします。

17:30  
退勤

業務終了！今日も一日お疲れ様でした！！

保育園は 7:00～20:30  
まで開園しているため、  
シフトで動きます。  
(1日8時間勤務)

その他、プールや七夕、  
クリスマスや節分会や  
収穫祭など、季節に合  
わせた行事もあります



# KidsGarden's Life

# 例えば英語

私たちの園では、ひまわり保育の考え方を理解していただいた上で、**専門性を持った方々**の力を借りた活動を取り入れています。

例えば英語。しかし決して英会話ができるようになることを目指しているわけではありません。**自分たちとは異なる顔立ちや言葉や文化を持つている人たちとも仲良く楽しく過ごしていける。**そのような力は大人になっても欠かせません。大きくなってから頭で考えるのではなく、小さい頃から**ごく当たり前の環境の中で過ごしているからこそ自然に身に付く**と考えます。

『英語であそぼう』では、英語を使って体を動かしたり、ゲームをしたり、時には協力したりして、英語や異文化に親しみながら、**コミュニケーションの力を伸ばしていきます。**



英語であそぼう  
インター・ナショナル・ランゲージハウス

つながる・広がる／ 提携機関との連携

# 例えば体操

ひまわりの園には体操の時間もあります。ですが、これも「技を磨く」ということに重きを置くのではなく、一人ひとりが持っている運動機能を伸ばしながら、子どもたち自身が**《運動することの楽しさを感じる》**ことが狙いです。また、将来様々なスポーツに出会った時、やってみたいと思える好奇心や挑戦しようとする心を育みたいと考えています。

小さい頃から身近なものとして運動に触れていることは、運動神経や体力を養う以外にも、**様々な能力の育成**にも役立ちます。なぜ上手くいかなかったのか、どこが上手な人と違うのかなど、自分を見つめ直させることで、子どもたちは考え、工夫したり修正したりします。そしてそれを乗り越えた時には大きな喜びや自信を得ることができます。その**《過程》こそが重要**だと考えます。

失敗することは恥ずかしいことじゃない！チャレンジすることはそれだけで素晴らしい！そんなエールを送りつつ、時には、頑張れない心や、悔しい気持ち、悲しい気持ちにも寄り添いながら運動の楽しさを伝えていきます。



体操の時間  
コーディススポーツ

# 充実の研修制度

子どもたちの健やかな成長を願いつつ、時代の流れや様々なニーズにも応えていくためには保育士個々の日々の研鑽と成長が欠かせません。

ひまわりの保育では、各現場でのOJTの他、様々な研修制度を設け、保育士一人ひとりが真のプロフェッショナルとなるためのサポートもしています。仲間と共に切磋琢磨しながらより良い保育を目指していきましょう。

## 研修例

- 教育研修
- パネルシアター
- 危機管理研修
- 手作り玩具製作
- 保育理論研修
- 6ヶ月研修
- ベビーマッサージ
- 次年度方針説明会 等



# 先輩保育士から



関わり方に答え  
はない、だから  
面白い

私が保育士を目指そうと思ったのは、保育園の家庭的で温かな雰囲気がとても好きだからです。その思いは保育士になった今も変わりありません。大変なこともありますが、日々やりがいを感じながら仕事に励んでいます。

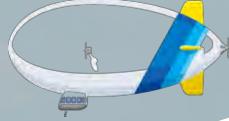
保育士の魅力はなんと言っても子どもたちの未来に直接関わること。でも、そこに《正解》はありません。本気で彼らと向き合う中で少しずつ見えてくるものなのかもしれません。

後輩の保育士や子どもたちに頼りにしてもらえるように、これからも挑戦し続けたいと思います。

**宮川 雅道さん**（保育士歴10年）  
ひまわりキッズガーデン豊洲



**末永 耀さん**（保育士歴5年）  
ひまわりキッズガーデン城山



保育士になって  
学んだ『遊びの  
奥深さ』

日々移り変わる、  
子どもたちの様々な表情や、彼らの豊かな発想を間近で見ることができるのは、保育士の《特権》だと思います。そして、それらを引き出すための方法を考えたり、子どもたちの成長や発達について知ることはとても楽しいですし、やりがいにも繋がります。

私は、これまでの保育経験を通して《遊びの奥深さ》を学びました。保育園では、ただ単に“楽しさ”だけを求めてするわけではありません。遊びの中でこそ培われる様々な力があり、その為に保育士が気を配らなければならないことがたくさんあります。たかが遊び、されど遊び。何年経験してもまだまだ勉強中の毎日です。



子どもの成長を  
保護者と共に  
喜び合える仕事



私がまだ短大生だった頃、ひまわりキッズガーデンで実習をさせていただきました。右も左も分からない私に、子どもたちへの関わり方や保育についてていねいに教えて下さり「私も先生方のような保育士になりたい」と思ったことがきっかけです。

私が思う保育士の魅力は、子どもたちが日々成長していく姿を目の前で感じながら、それを《保護者の方と喜び合える》ことです。

私には3歳の娘がいますが、出産・育児を経験したことで保護者の方の育児の悩みに共感したり、相談に乗ったりするようになりました。

子どもたちを取り巻く様々な方々から必要とされる人材になれるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

**坂本 朋香さん**（保育士歴10年）  
ひまわりキッズガーデン有明

# JYOHOKU AREA (板橋区)



ひまわりキッズガーデン志村

ひまわりキッズガーデン大原



ひまわりキッズガーデン城山



ひまわりキッズガーデン  
小茂根

定員数：認可園36～66名規模

都内2つのエリアに8つのひまわりキッズガーデン



ひまわりキッズガーデン東雲



ひまわりキッズガーデン豊洲



ひまわりキッズガーデン有明



ひまわりキッズガーデン  
有明の森

定員数：認可園94～120名規模

# WANGAN AREA (江東区)

ひまわり福祉会は、様々な世代の人々のサポート事業を通して、明るい社会づくりに貢献します

## 学育事業

### 放課後児童健全育成事業

- ・板橋区：あいキッズ(6)
- ・江東区：きっずクラブ(1)

子どもたちの誰もが、放課後の時間を“自分らしく”過ごすことのできる居場所創りを目指しています。



## 高齢者事業

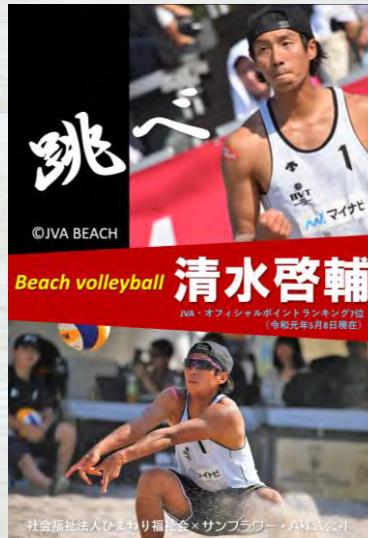
### 高齢者施設運営

- ・介護付有料老人ホーム  
グループホーム『私の時間』
- ・自費訪問介護事業

「小さな街」をコンセプトに、人の温もりを感じながら“あるがまま”に過ごせる我が家をモットーにした複合施設です。



2020年 東京オリンピック  
パラリンピックに向けて  
アスリートも奮闘中！



★清水啓輔選手  
(ビーチバレーボール)

★木村潤平選手  
(パラトライアスロン)

ひまわり福祉会所属

ひまわり福祉会の事業

## 社会福祉法人ひまわり福祉会

東京都板橋区小豆沢1丁目-12番-6号 【お問い合わせ】

TEL 03-5392-3900 FAX 03-5392-3840

✉ [saiyou@himawari-fukushikai.org](mailto:saiyou@himawari-fukushikai.org)

<http://www.himawari-fukushikai.org>

E-mail: [honbu@himawari-fukushikai.org](mailto:honbu@himawari-fukushikai.org)

担当：加藤・箕輪



最新情報を随時配信中

無料アプリ”COCOAR2“をインストールして  
写真を読み込んでみてくださいね！



先輩の声



園の雰囲気



会社案内&お知らせ

採用HP



Instaglam



HIMAWARI\_FUKUSHIKAI